

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月 28日

事業所名 ピースフルケアおりひめ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	0		
	2	職員の配置数は適切である	1	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	1	事業所は2階にあり、手摺付き階段を利用いただいています。階段では指導員が付き添い危険がないよう配慮しています。2階はバリアフリーになっており、トイレ等の必要箇所には手摺を設置し安全に過ごしていただけるよう配慮しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	0	日々のミーティングでの振り返り、定期的な支援会議により、支援の方向性や問題点を確認しながら、迅速に対応できるよう努めています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	0	保護者様向けの評価表および日々の連絡帳等により、保護者様の意向等を把握し業務改善に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0.1	0.9	他事業所と定期的に交流を図り、改善点を見つけた環境工夫のきっかけを持つようにしています。	外部評価につきましては、現在行っていません。今後、検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	0	事業計画に沿って、毎年、社内外研修の機会を全職員に確保し、スキル向上を図っております。コロナ禍のため外部研修自体が少なくなっていますが、社内での研修を増やしたり、リモートで社外研修に参加するなど資質向上に努めています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	1	0	日々の過ごし等を観察しながら、ご利用者様と保護者様のニーズや課題について分析し、支援の方向性や最適な支援方法等について、支援会議で検討し計画を作成しています。	

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0.7	0.3	一部のご利用者様につきましては、保護者様からご提供いただいた新版K式発達検査の内容やその他心理検査等の内容により、ご利用者様の状況を把握をしています。	標準化されたアセスメントツールを使用できる職員がいないため、現在導入しておりません。今後、導入を検討してまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	0	個々の状況に応じた適切なプログラムや新しい取り組みを提供できるよう、適時ミーティングで話し合いながら、活動プログラムを作成しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	1	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0.7	0.3	就業時間の関係により、平日は翌日午前中に、祝日や長期休業期間は、支援終了後にミーティングを行っています。ミーティングでは、支援の振り返りを行いながら、支援方法などについて職員間で確認しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	1	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	1	0	定期的にモニタリングを行い、職員間でご利用者様の成長や課題について話し合いながら、支援方法の確認と見直しの必要性について検討しています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	1	0			

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0.6	0.4	通院したご利用者様につきましては、体調・服薬・治療の経過等について、保護者様と連携を取りながら支援しています。	現在ご利用者様に医療的ケアが必要な方はいませんが、受け入れが必要な際は、主治医等との連絡体制を整えて支援してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	0	就学前に利用していた事業所や保護者様と面談や電話、書類等により情報共有しています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	0	保護者様からの許可があった場合につきましては、障がい福祉サービス事業所等から連絡があった際に情報提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	0	定期的に自閉症療育センターの研修や施設見学会に参加しています。専門性を高めて支援していけるよう努めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	1	地域の公園では地域の子供たちとの交流、お散歩の際には近隣住民の方との挨拶による交流、近隣店舗にはお買い物練習の際に交流するなど、地域の方々と交流する機会を作っています。	安全面の配慮から、現在のところ児童会等との交流は行っていません。地域との交流は必要と思いますので、児童会等との交流機会も今後検討してまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	0	交野市放課後等デイサービス連絡協議会へ定期的に参加し、交野市障がい福祉課や他事業所と情報を共有しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	1	0	連絡帳やサービス提供記録票、送迎時の報告等により、日々の様子について伝え合いながら、今後の課題等について共有できるようにしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	0		
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	0			
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	1	0	いつでも相談していただける環境づくりに努めています。連絡帳だけでなく、電話・メール・LINEを活用し対応しています。ご家庭内での支援については、保護者様と話し合い、できるだけ負担なくご家庭で行えるような支援方法について提案し、その後の経過についても随時確認しながら支援しています。		

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0.3	0.7		開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により延期にしています。現在、開催時期を検討中です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	1	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0.7	0.3	行事予定や連絡事項等についてはお手紙等で連絡しています。	インスタグラムを開設したので、定期的に発信できるよう努めてまいります。
	35	個人情報に十分注意している	1	0	パソコンデータにつきましては、本社サーバにて厳重に管理しています。事業所と本社サーバ間についてはプライベートネットワークを使用し、他からアクセスできないようセキュリティをかけています。紙媒体につきましては、鍵付き書庫にて厳重に管理しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	1	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0.7	0.3	日頃の感謝を込めてプレゼントを制作し、「勤労感謝の日」に地域の方へお渡ししたり、地域の方の畑で収穫をするなどの交流を行っています。	安全面の配慮から事業所へ招待する行事等は現在検討していません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0.8	0.2		保護者様には面談時に定期的に周知してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	0	年2回、地震・火災を想定した避難訓練を行っています。 送迎ドライバーを対象とした交通安全講習会を定期的に行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	0	定期開催の虐待防止委員会の内容を受けて、職員への虐待防止研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1.0	0.0	身体拘束適正化委員会を定期的に開催し、職員への研修を行っています。以前ご利用されていた該当者様につきましては、事前に保護者様に説明し了承をいただいた上で、その行動が周りやご利用者様自身に危険を及ぼす恐れがある場合のみの最終手段として行うよう職員に徹底していました。現在、該当するご利用者様はいません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	0	ヒヤリハットがあった際には、ミーティングで対策等を話し合い事故等が起きないようヒヤリハット事例集を作成し改善しています。また非常勤職員へは随時周知し安全への意識を高めるようにしています。	